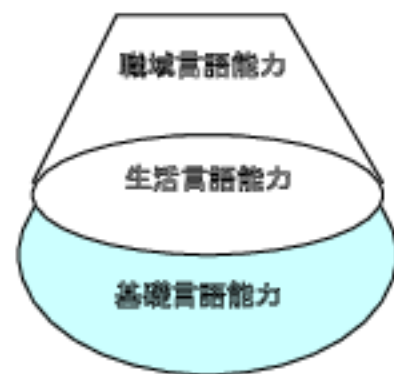


目覚めよ！

第3回 教育指導者 必読書

①【合格能力を養うために】

- 「受験能力と合格能力の違い」をはっきり理解するには、試験結果を見れば分かる。 前回の合格率は介護で 39.8%、看護で 10.6%と、ともに決して高い合格率とは言えない。特に看護分野の 10.6%は、ほとんど合格能力を養われていないことがはっきりと分かる。
- 母国での教育期間を含めて約 4 年間勉強をし、在日中では事業団から大量の教材が渡されて、教材に溺れた環境の中で生活し、さらには、地方自治体などの講習会にも出席させられて、膨大な経費と労力を費やした結果が、わずか 10.6%でしかない。
- このことはいかに無作為で、非科学的な考え方に基づいた教育を開雲にやっているかが分かる。 図1 のような考え方で計画的に教育をすれば、合格率は今以上に増大することは、明らかであることに気づくべきだ。

図1「基礎力がなければ
受験能力無し」

②【実技能力を養うために】

- 受験者が日本人職員と同様の業務を行えるようになるためには、職場環境を活かした実技能力が実感できる体得方法で学ぶことが最高の方法と言える。

【実技能力を養うとは、図2のように物知り状態ではなく、実行できる状態】になる学習をすることが必要だ。日本人を含めた最近の若者の傾向は、物知り状態で【口では言えるが実技ができない】ことが非常に多い。

- 実技のために体得をすることは、その実技習得の過程での経験の重なりが速度となる。そして、必要な施術を行うにあたっての「理由と手順」が理解できる。施行によって「事故が生じない実技能力」がより養われることになる。このことを日常業務の中において培っていくことが、受験にとっても国家試験合格能力を養う一貫であることを、認識させることが重要だ。

図2 「実技能力養成の三大要素」



③【専門語彙を養うために】

- 専門語彙は「語彙帳（対訳語彙帳）」を暗記する方法を取ると、まず第一に、学習意欲が減退する。第二に、訳語が間違っていた場合、間違った語彙理解をする。第三に、語彙と語彙との関連性を考えなくなり、「文脈理解力」が損なわれる。
- その結果、国家試験問題に対する対応能力が身につかないままに、知っている語彙の範囲で答え探しをすることとなる。そして、最大の問題は仮に合格できた後、「業務日誌・報告書など」が作

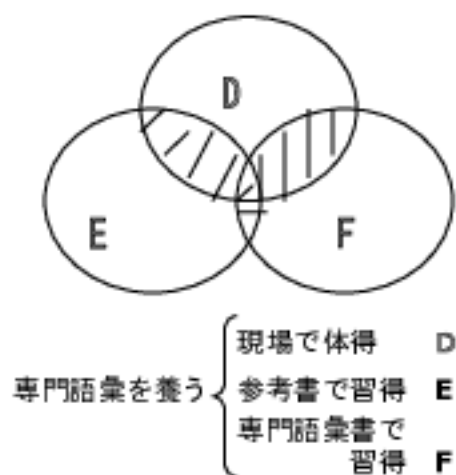
れず、そのため、記録業務がある仕事には合格者を使えないことになる。このことは何のための外国人雇用であったかが問題となる。

- せっかく合格者を出したにも関わらず、日本人職員と同様に働く専門家となり得ない根本的な原因を、受験勉強の段階で作ってしまうこととなり、専門語彙の習得に関しては、特にこのことを注意しなければならない。では、どのようにすれば良いのかを、次頁で具体例を紹介する。

【具体例紹介】

- まず第一に、具体的な物品に関わる専門語彙は、物品と動作とを付け合せをしながら語彙習得する。
第二に、どのような作業工程でその専門語彙が使われているのかを理解させるために、作業工程を再現する時に発声しながら語彙習得をさせる。
- 抽象的な専門語彙に対しては、決して対訳をさせるのではなく、参考書の読解練習をすることにより「文脈の中で理解させる」ことが重要で、決して対訳して専門語彙を習得することは【害あれど益なし】を認識するべきだ。
- 図3では「現場で体得・参考書で習得・専門語彙書で習得」の三つの要素が複合して、受験者の専門語彙に対する理解力を養うことを図式化している。D・E・Fの複合している部分が受験者の言語能力となるものなので、この部分を認識して学習指導すると良い。

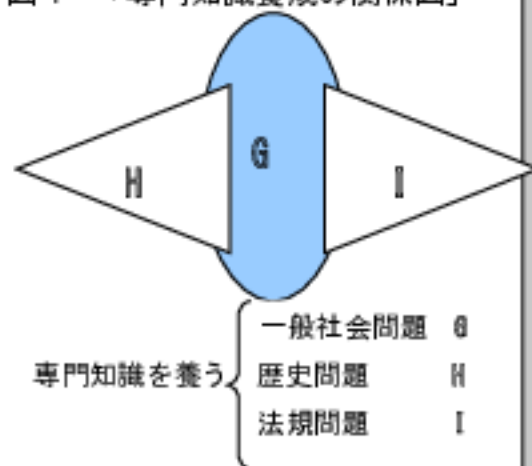
図3 「専門語彙養成の関係図」



④【専門知識を養うために】

- 図4ではG一般社会問題を基軸として、歴史・法規問題が成立していることを表している。即ち、一般社会問題が理解できていなければ、歴史と法規問題も理解困難ということになる。もし、暗記によってたまたま問題が解けたとしても、現場で職務遂行する時、対応能力が無いと言わざるを得ない。
- 多くの受験者は事業団教材を使用しながら、【受験テクニックを学習している】状態であるために、残念ながら「合格能力を養う」という領域に達していない。その結果が冒頭で述べた通り、毎年の合格率の低さを生み出している。

図4 「専門知識養成の関係図」

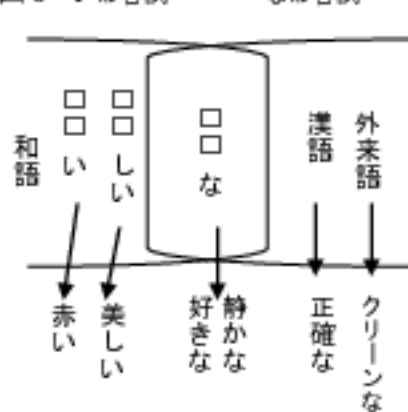


あなたなら どう教える？

【月報34号問題の答え】

- 問題) A 赤い本、おいしいのラーメン
B きれいの人、かわいそうの人

図5 い形容詞 な形容詞



なぜ、外国人はこのような間違いをするのでしょうか。

<答え>

- 受験者の母国語には日本語のように、複数の文字（ひらがな・カタカナ・漢字）が無く、語にも複数（和語・漢語・外来語）の種類が無い事が最大の原因。即ち、左図のような言語の形成は日本語だけである。そのため、形容詞に対しても名詞と同じように助詞「の」で次の語を繋ぐことだけしか知識が無いため。
- しかし、日本語には「な形容詞」と「い形容詞」に二分されており、語の接続方法には規則性があることを理解しない限り、【誤用表現】となってしまう。
- 指導上では図5を認識させて、日本語の形容表現には送り仮名のある形容詞と、「漢字熟語+送り仮名無し」の漢語形容詞があることを理解させることが大切。

※※ 教育指導の基本として、上記の基礎的な知識を持って受験者対応をしていない場合には、形容詞+「の」表現は、いつまでも直らないことに注意すること。

施設の声

年に一度の指導で何が分かる？

- 事業団の訪問指導で「書く力と読む力」が弱いと言われた。しかし、よく考えてみると一年に一度しか来ず、そして、短時間の簡単なテストを行っただけで一体何が分かるのか、不思議だ。
- 施設としては入職当初から、事業団教材だけを使って学習をさせているのに、一向に効果が見えない。そのため、訪問指導の指摘は非常に憤慨する。具体的な改善策もなかった。(宮城県・M施設)

過剰に多い教材に、辟易！

- 事業団が毎回送ってくる教材は、余りにも多すぎるので受験者は消化不良を起こしている。それから、先月の月報 35 号で指摘があったので、事業団教材を一通りチェックしてみた。
- 素人が考えても、これはおかしい指導法だという点が多数あってビックリした。また、漢字語彙については対訳がされているので、受験者は漢字を覚えるのではなくて、対訳語の方を中心に考えているために、どうしても役立つものとは思えなかった。また、対訳が全部正しいとは絶対に言い切れないことが、とても怖いと感じた。

(神奈川県・T施設)

無責任な発言が多い訪問指導

- 事業団の訪問指導を受けた。しかし、非常に現状を無視した無責任な指導に腹が立った。まだ、入職して 9 ヶ月余りなのに、事業団教材の小難しい専門語彙漢字を、もっと勉強するように言われた。
- 日本人でも外国語を勉強する時に、まだ十分力が身につけていない時から専門語彙を勉強しろと言われても、やる気にならない。何事も勉強するには、本人の能力にあった段階があり、それを着実にこなしていくことが、本当の力になるのではないかと考えているので、事業団の教材は今のところ一切、使わないようにしている。(山梨県・F施設)

期待外れのベトナム人の日本語力！

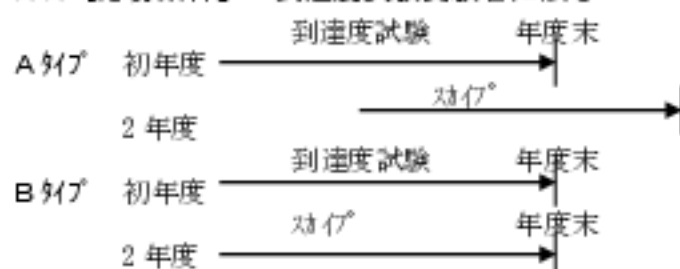
- 「ベトナム人候補者の日本語力が高い」との事業団の前宣伝を間に受けて、初めて受け入れたが、期待が大きく外れた。
- 入職してしばらく様子を伺っていても、日本語レベルは、まだまだダメだ。日本語の学習もさせたいところだが、それどころではない。日本の生活習慣などに慣れさせているところから始めているが、本当にものになるかが心配だ。(高知県・A施設)

教育効果の高いスカイプ授業開講

※ 全国の受け入れ機関より、数年前から「対面教育希望」が寄せられていましたが、弊社の事情により、全国に教員を配置することができませんでしたので、お断りしておりました。

※ しかし、この度、スカイプによる授業の準備が整いましたから、今年 10 月から開始することとなりましたので、お知らせ致します。

★★【応募条件】 到達度試験受験者に限る



助成金内で参加できます。詳細はお問い合わせ下さい。

卒業受験で不安解消！

※ 職員や地元の日本語教師に任せた教育をしている場合、「どの程度伸びているのか、どの部分が理解できていないのか、本当に合格できるのか」客観的に判断できない場合が沢山あります。

※ そこで、客観的に到達度が観える段階別テストを受けることができるようになりました。

- I 段階 基礎言語能力テスト
- II 段階 生活言語能力テスト
- III 段階 職域言語能力テスト
- IV 段階 国家試験受験能力テスト
- V 段階 国家試験合格能力テスト

※ 各段階で御希望のテストを 1 回 22,000 円で実施。「考察票」並びに今後の「学習指導書」添付。

※ 参加者には電話による教育相談を無料で実施できます。

自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる
- ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
- ③ 漢字も類推して読める
- ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

お問い合わせは、
ことばの研究社
電話：086-441-3361
FAX：086-441-3362

主教材

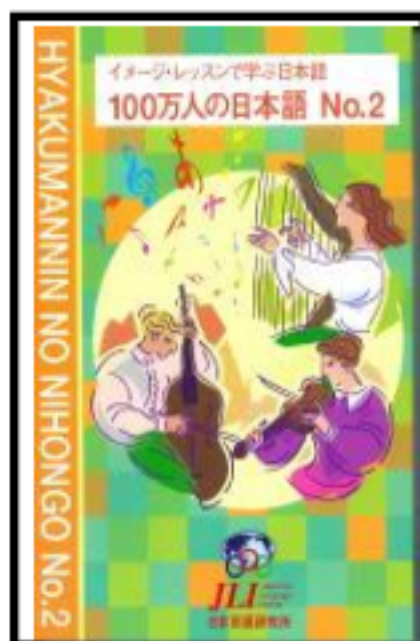
基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】
ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての
言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・
存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成
となっています。(2,805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字

※ 習得語彙数 520 語～1560 語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】
会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話を
を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解
しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得
できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現
力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語
のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】
日本社会に適応できる人間関係を理解
して、目上の人に対する礼節を保つ表
現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書け
ると同時に、漢字熟語を使った要約文
を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を
引いて調べることができます。(3,300 円)

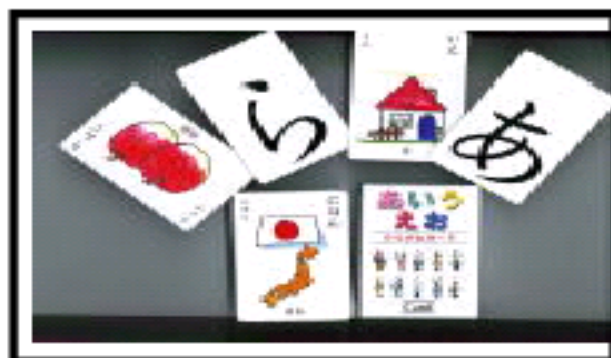
※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！
教育効果の高さ
副教材

基礎言語能力レベル

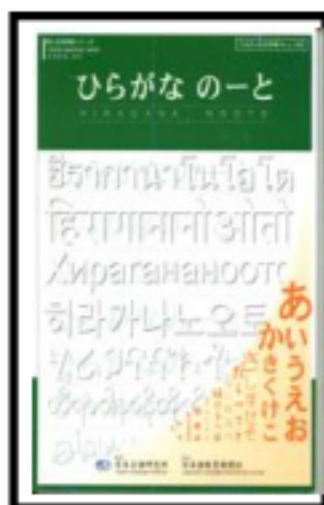
手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

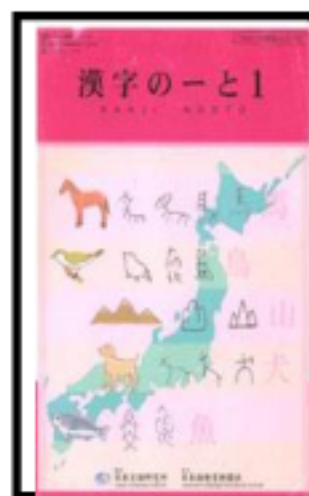
イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

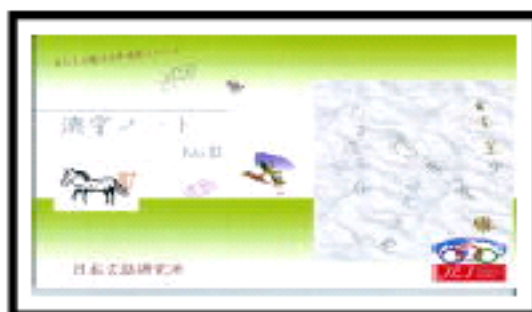
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその音出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い諸技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は、平成 24 年度国家試験で受験者数 95 名中 36 名が合格し、その 36 名中 19 名 (52.7%) がこの【到達度試験】を受けた受験者でした。 25 年度では、128 名の国家試験合格者のうち、【到達度試験】参加者は 76 名で、合格者は 68 名 (89.4%) でした。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で働く人間として必要な言語能力を養うことを重要視した学習方法です。 さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、病院や介護施設などで実践力のある要員として育成することを目的としています。 定期的試験結果を数値化し、職員に指導の仕方を考察票でお送りしておりますので、安心してご指導頂けます。 是非、ご参加下さい。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職業言語能力を養う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」(漢字 熟語)と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 (語彙力・文意力)に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生活言語能力を養う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基礎言語能力を養う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字(ひらがな・カタカナ・ 漢字)・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回	75 %	受験者の現状の日本語能力を観る。		